

# 竹山市長に これからの堺を 聞きました

竹山おさみ市長を囲んで、子育て中のお母さんが堺市政と子育てについて、それぞれ質問しました。

どんなまちづくりを？

子育て支援は？

市民の声はとどくの？



## 「自由自治都市・堺」を次世代につなぐ



堺で生まれ育った竹山市長の「堺愛」とは？



堺人には3つの希少なDNAがあります。ひとつは、南蛮貿易で世界に飛び出した「挑戦」の遺伝子。1600年前に仁徳陵をつくった「ものづくり」の遺伝子。そして、私たちには「自由」の遺伝子も受け継がれています。私自身の「堺が好きや」という思いを話すことによって、これらの気風を次世代に伝えていきたいと思います。



「堺はひとつ」「笑顔日本一のまち」、このスローガンには、どのような思いがあるのでしょうか？



私たちには、中世より自由自治都市の歴史と伝統があります。個人の自由はもちろん、まち全体が自由な雰囲気に入れられ、自らの力で地域を治めていくことが大事。そう、「堺はひとつ」なんです。笑顔が笑顔を育むように、誰もが「堺に住んでよかった!」と感じてもらえるようなまちづくりをめざします。

## 子どもたちと堺の未来のために



2期目最後の年になりましたが「子育て支援」について、どのような取り組みを進めてきましたか？



まちの将来を担うのは、子どもたちです。まず一番は、子どもたちが元気に成長すること。次に教育です。中学3年生までのワンコイン(500円)医療制度からはじまり、これまで待機児童ゼロ作戦、耐震化やエアコン導入といった学校の教育環境の整備などに取り組んできました。「子育て日本一のまち」をめざし、今後は第2子以降の保育料無償化を進めようと考えてます。



「共働き子育てしやすい街ランキング」で、2015年・16年と2年連続で関西1位に輝いています。私たちも期待しているのですが、これからの展望を教えてください。



切れ目のない子育て支援をやっていきたいと思います。妊娠、出産、子育て、学校教育などの節目で支援が途切れるのではなく、シームレスであることが大切でしょう。「子育ての悩みをどこに相談していいのかわからない」といった声に応えるため、区役所の窓口だけでなく「子育てアプリ」のPRやSNSなどの活用も積極的に、相談チャンネルを増やします。

### 堺の歩み 2013→2017



① 2013年の市長選。「堺はひとつ。堺をなくすな」を合言葉に、「大阪都」で堺市つぶしを狙った「維新」に圧勝しました。

それは「大阪都」が堺市にとって「百害あって一利なし」ということを見ぬいたからです。

### 堺市民は「大阪都」ノー

- 堺市は廃止され、2～3に分割されます。
- 堺市の税収約1300億円のうち約400億円と政令市財源約130億円が「大阪都」に吸い上げられます。
- 新たな区役所や区議会の設置など莫大なコストがかかり、税金のムダ使い。
- 市民生活に関わる身近なサービスが低下します。

### 堺から大阪府内へ



② 4年前に堺が勝利してから、続く岸和田、泉南をはじめ府内9市町で、「維新政治」と一線を画す自治体が誕生。「高校卒業までの医療費助成」(寝屋川)など市民の願いにこたえた施策を展開しています。

堺の勝利を力に、2015年大阪市での「住民投票」で「大阪都ノー」をつきつけました。



大阪市をなくすな! 5・10市民大集会&パレード